

「今、伝えたいこと」

鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢第一中学校 三年 長谷川 夢乃

私が今、伝えたいこと。それは、「生まれてきてくれてありがとう。」です。

私には二つ下の弟がいます。私の弟は、大きい夢と書いて「だいむ」と言います。実は大夢には、障害があります。私にとつても、大変なこともあります。それ以上に本人自身が一番大変なことです。伝えたいことが言葉で伝えられない、自分の心をコントロール出来ない。本当に大変なのです。私も姉として何か出来ることはないか、と考えたのですが、何も思いつかなくて……。姉として弟を守れないのは情けない事だと思っています。

弟は私に何とか伝えようとしているのに、私が理解出来ないのです。私自身も、理解しようとしても出来ないことにすごくショックでした。正直に言うと、つらいです。なぜ弟が障害者なのか……。考えると嫌なことばかり出てきます。

今は慣れたことなのですが、小学校時代がすごくつらい時期でした。私の我慢のピークがきていたのかもかもしれません。それは、小学六年生の時です。私が、友達と遊ぶ約束をしていたので、父

「友達と遊んでもいい？」

と聞くと、

「おめだつきや、大夢のこと見てねばまいんだね！」

と言われました。毎回言われていることなので、我慢しようとしたのですが、私は我慢の限界でした。私は

「なんでいつも、わあなの？」

と言ってしまう、父とケンカになりました。口ゲンカになり私も自分の気持ち伝えていた時です。ふと弟の顔を見たら、悲しそうな顔をしていました。私は、その顔を見たら言葉もでませんでした。その後、自分の部屋で泣いていたら、

弟が突然、

「お姉ちゃん、ごめんね。」

と言ってくれたのです。いつも伝えられても理解出来ないのに、この時はなぜか理解できたのです。その一言で、私はたくさん泣きました。弟は何も悪くないのに謝ってきたので、私はどうしたらいいかわかりませんでした。

姉のわがままなのに、大夢が悪いと思ったのでしよう。その時。弟は、小学四年生。私は六年生。大夢の方が大人だと思いました。大夢の伝えたいことがやると伝わったので、嬉しい気持ちかけない気持ちがあります。この場をかりて、ありがとう。いろいろ分かったと思います。この場をかりて、ありがとう。いろいろ分かったこともあったし、楽しいこともあり、それを、乗り越えられたのは、つらいことの方が多いです。それを、乗り越えられたのは、

家族のおかげだと思いません。父も祖父も祖母もいつも弟ばかり優先してしまっているので、私も少しは優先してほしいと何回も思いました。

「お姉ちゃんなんだから我慢しなさい！」

とよく言われることも何度もありました。でも、そこは姉として我慢するのが良いと今は思います。どこの親も、愛情たっぷり育ててくれていきます。弟ばかり優先して、「私なんか、どうでもいいんだあ。」と思う時もあります。しかし、親は同じぐらい愛情たっぷり育ててくれていてくれるのです。

私は、姉なので、甘えたいと思っただけがたくさんあります。でも、今の私は甘えたいというより「甘えられたい」という気持ちになり強いです。弟から甘えられると、なんだか嬉しい気持ちになります。姉弟がいると、ケンカも出来るし、楽しい気持ちもたくさんあると思います。だから、姉弟がいることを幸せに思いました。

最後に大夢に伝えたいことを言います。

大夢は、障害をもっているけれど、お姉ちゃんには、私達と同じだと思っっているよ。ほかの人達は、気持ち悪いって言う人もいるかもしれないけど、自信を持って生きていいよ。お姉ちゃんには、辛いことも大夢の味方であるからね。楽しいこともあるし、辛いことも大夢と一緒に乗り越えていこうね。本当に、大夢、お姉ちゃん弟として生まれてきてくれて、ありがとう。